



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1715 回例会

平成 24 年 8 月 20 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 55 名 出席者数 35 名

出席率 63.64% 前回修正出席率 74.55%

4. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君

皆様、良いお盆休みを過ごされたことと思います。

前回のガバナー公式訪問の際には活発なご意見を頂き、盛り上げていただき有難うございました。

ロータリー会員の義務として、例会出席、会費の納入、ロータリーの友を読むの 3 つがありますが、一方権利としては ロータリーバッジを着ける、世界中の例会に参加できる、があります。

今年度の会員誕生祝はロータリーバッジとなっていますが、出来るだけ有効活用して頂きたいと思います。ロータリーバッジの着用は個人の利益のために利用することは禁止されていますが、公の場では「私は思いやりのある信頼できる人」という証です。

日本ではそれ程注目されていませんが、外国では一目おかれています。空港の待合室で座っていてもバッジを見つけて親しく声をかけてくれたこともありますし、あるときエレベーターの中で小さな子供が、貴方はロータリアンかと聞いてきました、そうだと応えると私のお父さんもロータリアンだとうれしそうに握手をもとめてきました。みんなロータリアンとしての誇りをもっています。見習いましょう。

また、親しい友達になるには通常何年もかかります、しかし、同じロータリーバッジを着けているというだけで長年の友達であるように付き合ってくれます。何年前か、オーストラリアのタスマニア島に行った際、以前同地区から GSE で当クラブを訪問してくれた事を思い出し、タスマニアのクラブにメールを入れたと



ころ、空港に着いたら電話するようにと云って来ました。云われたとおり電話すると、迎えにいくから待っておれ、ホテルはキャンセルするようにとのことで、自宅に連れて行かれ 3 日間お世話になりました、その間クラブが主催するボランティア活動にも連れて行ってもらいました。ロータリーの仲間とはそれほど仲間意識が強いものなのです。

ここに世界中のロータリークラブの住所録というのがあり、何処の国のどのクラブが何時例会を開いているかと云うのがひと目で分かるようになっています。出張や旅行の際には是非見て行ってメイクアップをして見て下さい。大歓迎されます。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山北 R C 9 月 10 日(月) → 9 月 10 日(月)

18:30～ ダイワロイネットホテル和歌山 4F
(和歌山東 R C との合同例会)

和歌山城南 R C 9 月 13 日(木) → 9 月 14 日(金)

18:30～ ダイワロイネットホテル和歌山
ガバナー公式訪問
和歌山南 R C との合同例会

○休会のお知らせ

有田 R C 9 月 20 日(木)

6. 地区委員長会議報告

○ロータリー財団委員長

宮田 貞三 君

私達のクラブは、2002 年からフィリピンのセブ島に給水装置、マングローブの植樹、保健飢餓問題、識字率の向上、そして中古パソコンを再整備して小学校へ寄付する事業等を行っています。資金は私達海南東ロータリークラブが半額、残りの半額はロータリー財団マッチンググラントの同額補助制度を利用しています。海南西、有田 2000、御坊東と、さらに 3 年前から彰化東南ロータリークラブも参加して実施しています。私は、皆様に寄付をお願いする役目ですが、是非一度は私達の国際奉仕活動に参加してみてください。目は輝き、笑顔に満ちあふれた子供達の顔を見る



四つのテスト 實行はこれにてから

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 花田 宗弘 幹事: 中西 秀文 SAA: 那須 正志

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

と、国際奉仕活動をして良かったと実感します。支援はまだまだ期待されています。奉仕して喜んでもらいたい、子供達の笑顔を見たいという欲望は無限です。本年度の財団の寄付目標は1人100ドルです。期待しています。よろしくお願いします。

本年度も、ポリオプラスは継続します。ポリオプラスは1986年に発足以来、20億人以上の子供達に経口ポリオワクチンを投与してきましたが、ポリオのない世界は実現していません。世界中の子供達がポリオの脅威にさらされないよう支援を続けていきます。8月31日まで、ロータリーカード入会の申込みキャンペーンを行っています。期間中に申込みいただきますと、ゴールドカードで1,000円、スタンダードカードで500円が地区年次寄付となります。今までロータリーカードで、2,700万円が寄付されています。

来年度からロータリー財団が大きく変わります。今年はその準備期間です。世界は常に変化している、ロータリーも世界と共に変化しなくてはいけないと言われて、ポールハリスの時代からロータリーも変わってきました。財団の将来を明るくするために未来の夢計画が必要ですと地区協議会で説明を受けました。前期の阪口財団委員長からも説明を受けていますので大きく変わったところだけ説明させていただきます。私達が財団に寄付したお金は、全額R Iで3年間投資運用され、3年後寄付した50%が地区に返ってきます。地区に返ってきた50%のお金で今まで国際親善奨学生、G S E、3-H補助金、ボランティア奉仕活動補助金等の奉仕活動に使ってきましたが、これらの奉仕活動は来年度から廃止されます。地区補助金として私達クラブがフィリピンに奉仕活動を実施するについて利用していたマッチンググラント同額補助制度も変わります。

未来の夢計画では、地区にもどってくる50%のお金の内、25%は新地区補助金、残りの25%はグローバル補助金に分けられています。グローバル補助金は1万5千ドル~20万ドルの大口で、長期的に成果が期待され、しかも夢計画の6つの重点分野に合致していることが条件、英語で申請書を書く事、時にはR Iが電話で直接担当者に説明を求めてくる事もあります。R Iが厳しく審査し、補助を受ける事が大変難しいと聞いています。

新地区補助金は、地区で決済してくれますが補助金は寄付額の25%です。1クラブが受けられる補助金にも限度があります。3年前のクラブの寄付額の1人平均10倍が最高額となっています。そして申請したクラブが全部もらえるのかとの考えは甘く、申込み順です。会員2人のクラブが申請すれば寄付した金額の5倍、10人のクラブであれば寄付した金額全額もらえる計算になります。私達のクラブのように会員数の多いクラブはそれだけ多く貢献してきましたが、受け取る補助金は1人当たりになると大変少なくなります。受け取れる補助金は9万円です。寺下さんが、ガバナーに地区の資金を使ってでも補助金を出してほしいと要望したのは当然です。

R Iは最近官僚的、中央集権的になっている。橋下

大阪市長の人気があるのは地方分権を訴えているからです。ロータリーも地区の事は地区に任せ、地区はクラブに任せるのが良い。

私達のお金を英語で申請書を書いてR Iに決裁をもらわなくてはグローバル補助金が使えない。私達はR Iに向かって奉仕活動をするのではないのです。支援を期待している子供達の笑顔が見たいために奉仕活動をしているのです。

今年は夢計画の準備期間です。私の夢計画は、花田会長にガバナーになっていただくことです。1人でも多くの子供達の笑顔に出会える奉仕活動ができる地区にするために。財団の寄付目標は、1人8,000円です。よろしくお願いします。

○新世代委員長

地区のクラブ青少年交換委員長会議の報告をさせていただきます。2012年7月29日(日)のテクスピア大阪で午後1時30分から開催された。出席は地区から北中ガバナーはじめ、15名。各クラブから委員長が54名で、当クラブからは三木さんと私の2名が出席いたしました。

最初のプログラムではまず、地区青少年交換委員長の山田正人氏からこのプログラムの意義と概要が説明され、これからの行程や役割分担などが話されました。山田氏は現役の大阪府立高校の教諭で何人かの交換留学生のお世話をした経験のある方です。

まず、ロータリークラブの青少年交換プログラムですが、端的に言うと15歳から18歳までの高校生を外国に派遣し同時に派遣国から交換学生を受け入れるということです。

この留学のコンセプトはどういうものか、また巷にある多くの留学機関とどこが違うかということです。(語学だけではない。平和のための親善大使、ロータリーファミリーの一員、未来の人材育成)年間800名が世界を往来しています。

また、役割分担表が用意され、役割や内容と項目別に地区委員の担当が示されています。2013-2014年度2640地区の青少年交換学生は募集10名程度。

次に、ホストファミリーへの指針としては、受入までの注意点、受入後の指導、家庭生活でのルールや外出や旅行、交通安全など、細かい留意点の説明がありました。家庭でのことや外出については何度も強調していました。

交換プログラムに参加して、学校の立場から、また、参加した学生の立場からの報告があり、質疑応答に入りました。特にR O T E Xについて、留学後の活動をお手伝いする留学経験者の組織、会費の納入義務はあるのか?などの質問がありました。

田岡 郁敏 君



8月は会員増強拡大月間です

中村 俊之 君

地区のクラブ社会奉仕委員長
会議に出席しましたので報告い
たします。

はじめに、ガバナー、地区社会奉仕委員会顧問からあいさつがあり、ロータリークラブの社会奉仕について、地区社会奉仕委員長の坂東さんから、説明がありました。活動の基本方針は、各クラブが主体となっていくこと。地区はこの支援をすることで、必要な情報の提供、R Iの長期計画や地区内の要望を集約し、伝えるとのことでした。特に推奨プログラムの紹介では、各クラブ独自の活動、識字率向上運動、献血推進活動、ストップ・エイズ運動、薬物乱用防止運動などが紹介されました。また、「ロータリー100年の森林」への取り組みとして、償還期限に向けての対応を検討しているとのことでした。

この後、薬物乱用防止について、和歌山県福祉保健部健康局薬務課の宮井班長から、またエイズの状況について、同じく和歌山県の難病・感染症対策課の内田主査、献血について、赤十字血液センターの献血推進のお願いと協力要請がありました。

後半はグループ討議があり、海南東ロータリーの取り組みとして、清掃活動や「たんぽぽの会」との交流、献血例会の実施などを発表しました。

7. 閉会点鐘

次回例会

第 1716 回例会 平成 23 年 8 月 27 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

クラブフォーラム 平尾研修委員長



ニコニコ・BOX

山名 正一君 「ねぶた祭り」の観光旅行で家内が三木さんはじめ、参加者の皆さんにお世話になりました。

田岡 郁敏君 花田さんにヨットへ乗せていただきました。花火は天候の関係で見られませんでした。家族4人のいい思い出になりました。有難うございました。

宮田 貞三君 財団委員長会議の報告をさせていただきます。

林 孝次郎君 上海からきた子供を預かっています。
中国から沢山やってきました。

那須 正志君 花田会長に花火を見に連れて行って
もらいました。

ロータリーとつながろう



世界各地の話題は、ロータリーのブログ「Rotary Voices」をご覧ください。

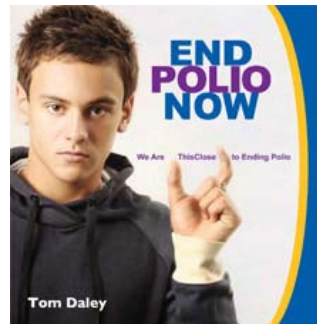


国際ロータリー
ニュース

オリンピック選手が
ロータリーのポリオ撲滅活動を応援

ロンドンで 2012 年夏季オリンピックが開催され、世界有数の選手たちが集まる中、一部の選手が、ロータリーのポリオ撲滅活動へのサポートを表明しています。

英国プリマスのロータリアンの働きかけにより、オリンピック飛び込み選手のトム・デーリーさんとトニア・カウチさんが「This Close（あと少し）」のポスターに登場しています。このポスターは地元プリマスの町中に掲示されているほか、ガーナのオリンピック選手が使う練習施設にも掲示されています。選手たちが「This Close」キャンペーンに協力するきっかけとなったのは、プリンプトン・ロータリークラブ会員のダレン・ハンズさんが、選手の写真を撮影するカメラマンの知り合いを通じて、選手のコーチと連絡を取ったことからでした。コーチは、選手たちに協力を呼びかけることに快く応じてくれました。「トレーニングの妨げにならないように、早朝にポスター用の写真撮影を行いました。撮影した写真を使って、さまざまな大きさのポスターやポストカードを作り、地元の報道機関やロータリークラブのウェブサイトにも掲載してもらいました」



第 1290 地区はさらに広報補助金を利用して、カウチ選手の登場するポスターを、デボンとコーンウォールの地域一帯に広めています。オリンピック期間中に選手を応援すると同時に、ロータリーのポリオ撲滅活動を推進し、会員増強にもつなぐと期待されています。この広報キャンペーンは大好評だと話すハンズさん。「グランサム・ロータリー・クラブの水泳マラソンと、私たちのキャンペーンは、4月にRIBI（グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー）から広報賞を授与されました」

英国のオリンピック選手のほかにも、インドの選手たちが「This Close」キャンペーンに参加しています。種目も多岐にわたり、ボクシング、重量上げ、レスリングの選手が集まっています。2008 年北京オリンピックでレスリングの銅メダルを獲得したスシル・カム選手は、子供の親に向けてメッセージを発信しています。「1988 年、インドでは毎日 500 人の子供たちがポリオに感染する状況でした。現在は、この国でポリオ撲滅を達成するまであと少しです。このポリオとの闘いに打ち勝つために、皆さんの協力が必要です」

同じく北京オリンピックでボクシングの銅メダルに輝いたビジェンダー・シン選手もポリオ撲滅活動へ

の協力を訴えています。「予防接種を受ければ、子供がポリオで身体麻痺を患うことはありません。身体を自由を奪われることのないよう、どうか子供たちに必要な予防接種を行ってください」

オリンピックの機会にロータリアンは、そのほかにもオリンピックにちなんだ活動を行っています。英国のレッド・ブリッジ・ロータリークラブ会員のトニー・ベッツさんは、第 1130 地区の企画で、ボランティアのホストファミリーとなり、オリンピック観戦に米国フロリダ州から訪れたロータリアン夫妻を自宅に迎えています。ロータリアン歴 6 年のベッツさんは、いつもロータリーの国際性に関心があり、世界中の人々との出会いを楽しみにしているそうです。「入会以来、私が毎年、国際大会に出席するのもそれが目的です。ロータリーでは地元クラブを超えた出会いや活動の可能性が広がっています」

RIBI オリンピック委員会の先導の下、ボランティア 300 人以上が集まって選手村の清掃を行う活動では、ロータリーの活動のために募金を集めることができました。募金の一部は、地元の複数の小児ホスピスを支援するために使用されます。

選手村に加え、オリンピック競技終了後の清掃も行う予定です。第 1260 地区ガバナーのデビー・ホッジさんは、「ロータリーとオリンピックはどちらも『より平和な世界を築く』という共通の精神を持っている」と話します。

台湾の黄其光(ゲイリー・ホアン)氏、 2014-15 年度の RI 会長に



台湾の台北ロータリークラブ会員の黄其光(ゲイリー C. K. ホアン)氏が、指名委員会により 2014-15 年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は 10 月 1 日に会長ノミニーに就任します。

同氏は、ロータリーへのビジョンとして、会員を 130 万人に増強することとし、「会員数の増加を図るためには、中国、モンゴル、ベトナムなど、発展の可能性が見られる場所ならどこへでも、国境を越えて進出して行かなければなりません。また、女性や若い世代の会員を増やすことにも焦点を当ていき、退会した会員を再びロータリーファミリーの一員として迎え入れ、再入会を推進することも考えています」と話します。

ホアン氏は、Taiwan Sogo Shinkong Security 株式会社、Shin Kong Life Real Estate 株式会社、P. S. Insurance Agency 株式会社の会長、Federal Corporation の理事、台北ライフライン協会の専務理事を歴任してきました。また、マラーヤン海外保険株式会社の元社長、台湾産業・商業開発協議会の創設事務総長でもあります。

1976 年以來のロータリアンである同氏は、RI 副会

長、理事、ロータリー財団管理委員、地区ガバナー、国際協議会研修リーダー、地域セッションリーダー、タスクフォース委員およびコーディネーター、委員会委員および委員長など、ロータリーでさまざまな役職を歴任しています。

2000 年の香港、2011 年のクアラルンプール、2002 年のマニラ、2003 年のシンガポールでのロータリー研究会招集者でもある同氏は、2002 年台北会長主催会議の委員長も務めました。また、現在は台湾パスト・ガバナー協議会の委員長を務めています。

第 3450 地区のガバナーとして、1986-87 年度に 19 の新クラブ(香港、マカオ、台湾を含む)を結成した同氏は、中国の内務省より、その卓越した地域奉仕活動が認められ、全国市民奉仕賞を授与されています。ロータリーでは、RI 超我の奉仕賞ならびにロータリー財団功労表彰状を受賞しています。ホアン氏とコリーナ夫人には、3 人のお子さんがいます。

ウクライナで ロータリー 20 周年を迎える

1992 年、ウクライナ初のクラブとなるキエフ・ロータリークラブが誕生しました。今日、ウクライナでは 40 以上のクラブが活動し、その多くが未来のロータリーを担うローターアクト・クラブを提唱しています。

キエフ・ロータリークラブは、クラークストン(米国ミシガン州)、エジンバラ(英国スコットランド)、



リンウッド(米国ワシントン州)、シュルーズバリー(米国マサチューセッツ州)、トロント(カナダ、オンタリオ州)、バンクーバー(カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州)の 6 クラブがスポンサーとなって設立されました。先日、創立会員とクラブ創設に貢献したロータリアンによって 20 周年の祝賀行事が行われ、ラジェンドラ K. サブー元 RI 会長や、米国ミシガン州やマサチューセッツ州のロータリアンも列席しました。

「ロータリー・リーダー」



ロータリーの魅力を伝えるヒントは「ロータリー・リーダー」最新号をご覧ください。

ロータリー財団の補助金に関する情報もご覧ください。



ロータリーのブログ「Rotary Voices」には、世界各地からのストーリーが寄せられています。
<http://www.rotary.org/ja>